

## ピークを踏まない遠見尾根

山行日：2023年2月5日(日)

参加者：L Y賀、SL W田 e、Y崎 t、I谷

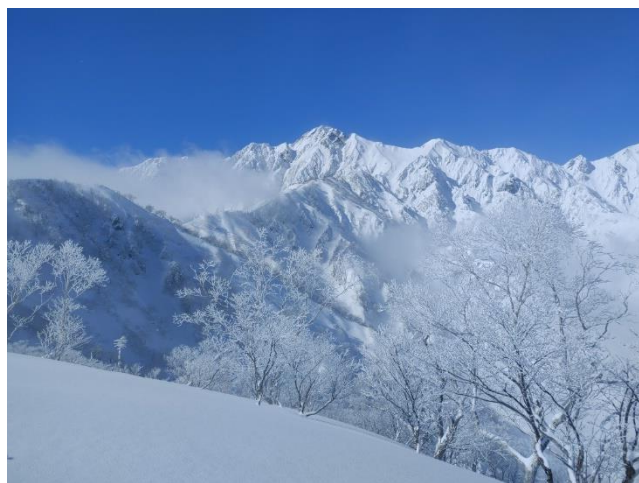
コース：神城スキー場、9：25アルプス平（テレキャビン、リフト）＝地蔵の頭

9:50—子遠見 11:45/12:15—地蔵の頭 13:10—アルプス平駅 13:25

朝方外を見ると雪がちらついている、今日は晴れの予想だったのに…身支を整えてロープウェイ乗り場へ、だが肝心のテレキャビンはゲレンデ整備のために1時間近く待ってやっと動き出した、一面ガスの中で皆言葉も無くスノーシュー或いはワカンを装着、この時点で大遠見は無しになるが、山ちゃんが先陣を切ってホイサッサと出発する、やはり雪が深いトレースは自分の膝下である、踏み固まれば居るがワカンの足元がズボッズボッと潜る、少ししか歩かないのに息が上がる、先頭はどんどん行く中、顔を上げると普段見慣れている雪山と違う、空気が違う、ガスに霞んだ樹々の霧氷がう～ん！最高♥

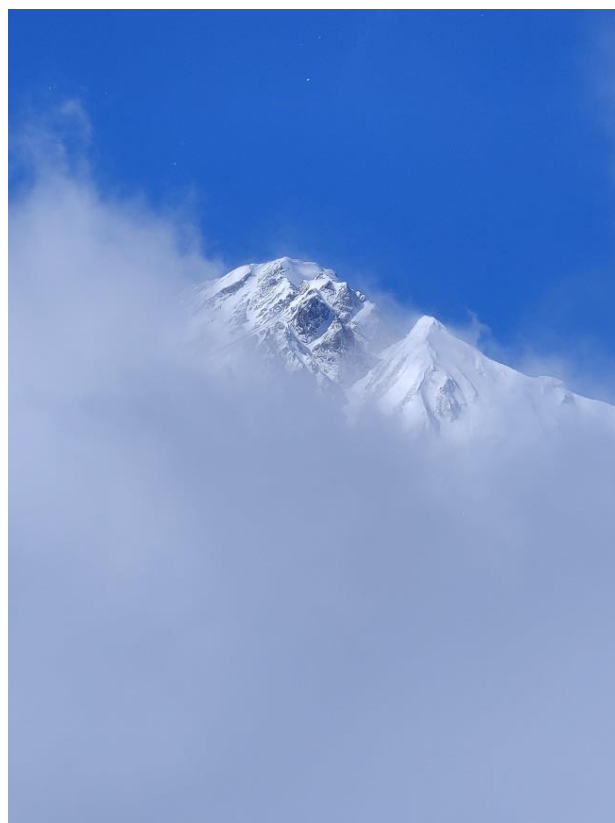
そして一の瀬髪辺りまで来ると雲の間に光が差し五竜岳の頂きが姿を現し、進むにつれて黒々とハッキリと五竜菱(別名・武田菱)が解る、唐松岳に連る稜線がこれでもかと

遠見尾根から五竜岳に続く稜線

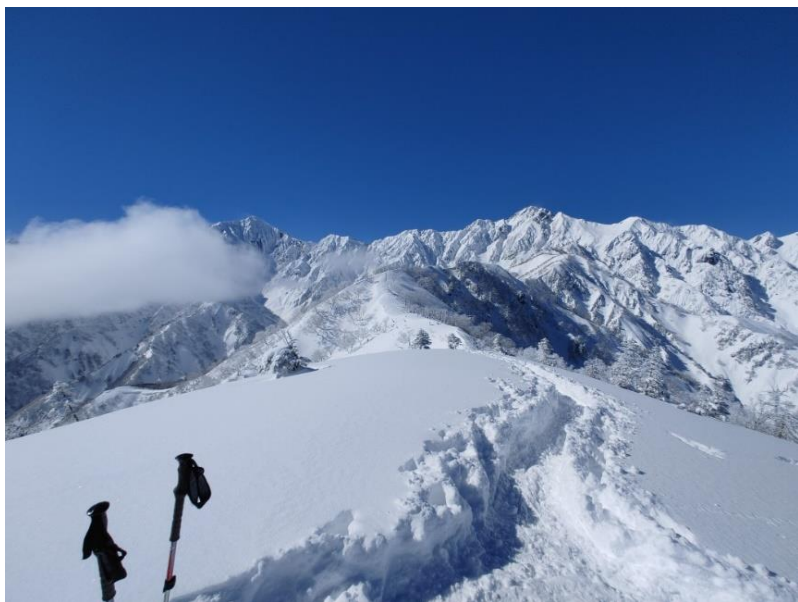


見せつける、遠見尾根を挟んで左側の鹿島槍の姿はまだ雲の中にお隠れ…です

見事な五竜菱



小遠見に到着して暫し休んでいると遂に雲に隠れていた鹿島槍が幕を開ける様にする  
すると、【汝わが姿を見よ♥】とばかり、徐々に姿を現す～周りからア～とかオ～の歓



声が…素晴らしい、大迫力のパノラマ、この絶景が見たかった！3月でもない4月でもない2月の真白き後立山の姿に魅せられて、もう何も言う事ありません。青い空と太陽に雪原がキラキラ輝く中、どの人のお顔も感動して満足感が溢れていた、名残惜しみつつ下山開始、身のこなしが軽いリーダーは深い雪も何のその雪面を滑る様に下山、我々もそれぞれのスタイルで下山するいつの間にかガスがわ

き、あの素晴らし山々は雲の中にお隠れました。



あとがき

この山行は、参加者が集まらず一度没になりましたが、リーダーが再度…ホームページにあげてくれたお陰で4人の仲間が集まり実現しました～リーダーに感謝です。

ラッセルに励む板谷さん、素敵です

そして…山の神様にありがとうございます。



鹿島槍が見えた、ブラボー



事務局長殿の真剣な眼差しは  
次のターゲット五竜岳でしょうか

みんな満面の笑みです